

第九回衆議院船舶職員法案委員會速記録

(第三號)

(九八)

明治二十九年三月十四日午前十時四十分開議

○委員長(西山志澄君) 是レヨリ會議ヲ始めマス

○政府委員(佐藤秀顯君) 昨日御散會前ニ櫻井君カラ嚴重ナ御尋ガアツタシ
デゴザイスマガ、御答ヲスル前ニ散會ニナリマシタカラ、今改メテ申述ベテ
置キマス、元ト現行法ニ依リマス、船舶職員ノ過誤失措ヲシタモノヲ、船
舶司檢所ニ呼出シテ訊問スルコトハ、人ニ大怪儀ヲ負ハセタトカ、
或ハ人ヲ殺シタトカ、又ハ船ニ大損害ヲ與ヘタト云フ場合ニ限ルノデアリマ
スカラ、サウ云フ場合ニハ無論御尋ノ證據ト云フヤウナモノモ長ク保存シ
テ居ツテ、ドノ船ドウ云フ人ニドレ丈ノ失措ガアツタト云フコトハ分ル、此
間中カラノ問題ニナツテ居ル百中二三ノ大事項ヲ除イタト云フモノハ、檢査
官ガ定期又ハ臨時ノ檢査ヲ致シマスル時分ニ、鐘或ハ機械ニ新シイ修理ヲ加
ヘタ跡ガアルトカ、又ハ命ジテ修理ヲ加ヘナケレバナラヌトカ云フヤウナ事
柄デ、右ハ其時限リデ命ズルナリ、又ハ自分ノ都合ナリデ修理ヲ加ヘテサヘ
シマヘバ、ツレデ濟ムノデアリマスカラ、別ニ何レ程ト云フコトヲ事實ヲ舉
ゲテ御話スルコト云フコトハナイノデアリマスガ、一人ニ限ツテ居ル船ハ、今
御話スルヤウナ事ガ多イ、ツレガ一ツ誤ルト云フト、大事變ニナルト云フ懸
念ガアルタメニ、二人ニスルヲ必要トスルコト云フ御話ヲシタノデアリマス、
ツレ式申上ゲテ置キマス

○(櫻井義起君) 第一現ハレタモノガナイ限リハ、恐ラクハ政府委員ト雖モ
一人乗ツテ居ツタメニ大變失策スルコト云フコトハ、恐ラクハ御答ハ出來ナ
カラウト思ツテ居ツタ、果シテ其通りデアル、必ズ一人ノタメニ著シイ
一人乗ツテ居ツタメニ大變ノ失策ガ代理者——サウ云フモノノタメニアル
ト云フコトハ、御調ラベガ付キマセヌケレバ已ムヲ得マセヌ

○委員長(西山志澄君) ツレデハ一ツ是カラ斯ウ致シマセウ、昨日御缺席ノ
御方ハ、此船舶檢査法案ハ船舶職員法ノ上ニ御質問モアリマセウケレドモ、
尙此船舶職員懲戒法案ハ質疑ニカ、ツテ居リマセヌカラ、此方ニ御質疑ガナ
ルナレバ願ツテ、其間ニ於キマシテ、御缺席ノ方ハ御質問ヲナサルヤウニシ
タイ

○(天竺伊左衛門君) 明日ノ會ニ於テ御質疑ニナツタ分ノ方案ハ何ンデアリ
マスカ

○委員長(西山志澄君) 船舶檢査法案、船舶職員法案ハ大凡質疑モ濟ミマシ
タ

○(天竺伊左衛門君) サウ致シマスルト、今日御諮リニナルノハ、豫メ濟ンダ
ケレドモ、船舶職員法案ヲ尙質疑スルコト云フノデスカ

○委員長(西山志澄君) 御缺席ノ御方デ、萬一御質疑ヲ要スルコトガアレバ

已ムヲ得マセヌカラ

○(阪田昌熾君) 此懲戒法案ニ元ト船舶職員懲戒法案トアツタノヲ、貴族院
デ海員懲戒法案ト直シタ、其第一條ニ「海技免狀受有スル者其職務ヲ行フニ
當リ左ノ事項ニ該當スルトキハ罰スル」斯ウナツテ居リマス所ガ、船舶職員
デナクシテ海技ノ免狀ヲ有シテ居ルモノガ過失ヲシテモ、此法律デ罰スルコ
トガ出來ルカ出來ヌカ、政府委員ニ伺ツテ置キマス

○政府委員(佐藤秀顯君) 海技免狀ト云フノハ貴族院デ修正ヲシタノデアリ
マシテ、元ハ船舶職員免狀トナツテ居ツタガ、其修正ハ前回申述ベマシタ通
リデアツテ、海技免狀ヲ所有シテ居ルモノハ、即チ船舶職員法ニ依ツテ十二
種アルノデアリマス、ツレガ船ニ乗ツテ職務ヲ行ウニ當ツテ、第一條ノ一カ
ラ七迄列舉シテアリマスヤウナ失措ガアツタ時ニハ、此法律ヲ適用スルノデ
アリマスカラ、船舶職員ハ五ツノモノニ限ツテ居リマスガ、海技免狀ヲ持ツ
テ居ルモノハ十二種アリマスカラ、船舶職員トスルヨリモ、海員ト云フ方ガ
廣クツテ當箱マルト云フ點カラ、此方ニスルガ宜イト云フコトデ、貴族院デ
斯ウ云フコトニ修正シタノデアリマス

○(阪田昌熾君) サウシマスルト、船舶職員デナクツテモ罰スルト云フ、斯
ウ云フコトニナリマスカ、苟モ免狀ヲ持ツテ居レバ

○政府委員(佐藤秀顯君) 左様デス

○(阪田昌熾君) サウスルト、初メヨリ船舶職員ト云フ方ハナカツタノデア
リマスナ

○政府委員(佐藤秀顯君) 今御話スル船舶職員ノ免狀ヲ有シテ居ルモノナラ
バ、一カラ七迄ノ過失ガアツタ時分ニ、之ヲ適用スル積リデアツテ、精神ハ
少シモ變ハラナイノデアリマスガ、唯船舶職員ト云フヨリハ、海員ト云フ方
ガ其精神ニ當箱ルノデ、海員ト云フ方ガ、適當デアルト云フノデアリマス

○(阪田昌熾君) サウスルト二等機關士ガ職務ヲ執ル上ニ就テ失策ガアリマシタラ、共
ニ罰スルト云フコトニナリマスカ、職員ト云フモノハツレガタメニ責任ガア
ルトカナイトカト云フコトハナクナツテ仕舞ツテ、免狀ヲ有スル者ニ責ガア
ツテ、船舶職員ニハ……

○政府委員(佐藤秀顯君) サウデハアリマセヌ、船舶職員ノ種類ハ五ツデ、
ツレガ失措シタトキハ無論懲戒シナケレバナラヌ、其他ニモ海技免狀ヲ持ツ
テ居ル者ガ、矢張船ニ乗ツテ職務ヲ執ルニ當ツテ失措ガアツタラ、免狀ニ對
シテ制裁ヲ加ヘナケレバナラヌ、船舶職員ト云フヨリハ懲戒ヲ受ケル者ノ幅
ガ廣イカラ、海員懲戒ト云フ方ガ適當デアラウト云フノデ、名ヲ換ヘルト云
フ趣意デアリマシタ

○(天竺伊左衛門君) 一寸速記ヲ止メテ貫ツテ、第二條ノ船舶職員云々ト云フ貴族院ヲ修正ニナツタコトヲ伺ヒタイ
○委員長(西山志澄君) ツレナラ一時速記ヲ止メマス
(此ヨリ速記ヲ止ム)

○(阿部興人君) 唯今ノ御話デ今一應念ノタメ伺ヒマス、免狀ヲ持ツテ居リマス者ガ、例ヘテ申セバ職員以下ニシテ免狀ヲ持ツテ居ル者ガゴザリマスレバ、其場合ニ於テハ若シ幅ヲ廣クシタト云フナラバ、定員デ職ヲ執ツテ居ル所ノ者、即チ五ツノ中ノ者ガ失策ヲシタラ懲戒ヲ受ケルハ至當ノコトデアリマスガ、斯クナツタ以上ハ、其外ノ者デモ捲添ヲ受ケテ矢張免狀ヲ持ツテ居ルト云フ、資格ト云フ上カラ懲戒ヲ加ヘルハ、廣ク加ヘルト云フ御考デスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 其通りデアリマス、三等運轉手、二等機關士ト云フヤウナ者ガ免狀ヲ持タナクテモナレル、免狀ヲ持ツテ居ル者ハ無論デアリマスガ、免狀ヲ持タナクテモナレルノデアリマスカラ、職員法ニ言フ職員デハナイノデアアルガ、免狀ヲ持ツテ居ツタ者デ職員外ノ職務ニ從事シテ居ツタ場合ニ、失措ノアツタ時ニハ、其免狀ヲ以テ本統ノ職員ニモナレルノデアアルノデスカラ、ツレデ後ヲ懲戒スルノガ懲戒ノ精神デアアルカラシテ、其免狀ニ對シテ處分スルノデアリマス、職員デアルト云フコトデ懲戒スルノトハ違ヒマス、免狀ノ種類ハ十二種、職務ハ五ツデアルト御承知下サル外ハナイノデアリマス

○(阿部興人君) 此一等機關士トカ、船長トカ、ツレノ職務ヲ執ツテ其次ニ補助員ガ居ル所ガ、其補助員ハ職務ヲ行フニ當ツテハ、職員ノ殊ニ上席ノ者ノ命令ニ從フ所ガ、其際ニ當ツテ片一方ノ其職ニ當リ其全權ヲ握ツテ居ルモノガ、其時ニ自分ノ意思デ罪ヲ犯サズトモ、片一方ノモノト一緒トナツテ居ツタト云フコトデ、まきぞヘノタメ此事ヲ受ケルト云フヤウニ、今ノ御答辯デハ承リマシタガ、其邊ハドウデゴザイマセウカ

○政府委員(佐藤秀顯君) ソコハナイノデゴザイマス、勿論重キ責任ヲ職員トシテ持ツテ居ルモノハ、罰セナケレバナラヌノデ、決シテまきぞヘト云フコトハナイノデアリマス、單獨ニ命ヲ受ケタト云フコトデモナシ、免狀ヲ持ツテ居ツテ、職員外ノ職務ニ從事シテ單獨ノ行爲デ失措ガアツタトキニハ、ツレノ問ハズニ置ケバ、他ノ船ニ免狀ノ效力ヲ利用シテ、職員トシテ乗ツタ時分ニ、大變ナ懸念ガアリマスカラ、免狀ヲ持ツテ居ルモノハ、矢張懲戒法ヲ適用スルノデアリマス

○(阿部興人君) モウ一ツ御尋申シマスガ、ツレモ一理アリマスガ、此懲戒法ノ第一項ニ當ツタ處デ、正當ノ理由ナクシテ其船舶ヲ放棄シタルトキト云フノハ、職員ガ二人若クハ三人アルト見テ、船主ノ希望等デ、職員ガ一人多ク乗ツテ居ル、其乗ツテ居ル所ガ、正當ノ理由ナクシテ其船舶ヲ放棄シヤウト云フコトハ、一番船ノ主宰シテ居ルモノガ、サウ云ツテ片一方ノモノガサウ云ハ又時デモ、職權上片一方ノ者ガ放棄スルト云フタ時ニ、已ムナク所謂首

席者ノ指揮ニ從ツテ放棄ヲシナケレバナラヌコトガアルカ知ラヌ、其時デモ上役ノ命令ヲ經テシテモ、其者ハ附イテ居ツタト云フ所カラ、本條ニ照シテ懲戒スルト云フコトハシマスガ、ドウデスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) ツレハシナイ筈デゴザリマス、船舶ヲ放棄スルト云フコトハ、船長ノスルヨリ外ニナイコトデアツテ、船長ト云フモノハ必ズ乗ツテ居ラナケレバナラヌ第一ノ職員デアリマスカラ、船長ヲ處分スルニ止マル

○(阿部興人君) マーッ伺ヒマスガ、サウシテ見マス、其間ノ區分ト云フモノハ、餘程面倒デアアリマセヌカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 今日マデノ實際ノ取扱振リヲ御話致シマセウ、事柄ニ依ツテ餘程違ヒマスガ、詰リ事ガ起キマシタ其事ニ就イテ調べテ見マス、例ヘバ先刻カラ御話ノヤウニ、船長ト一等運轉手、二等運轉手ガ居レバ宜イ所ガ、三等運轉手ノ免狀ヲ持ツテ居ル者ヲ乗セテ居ル、サウスルト其船ノ方デ三等運轉手ノ免狀ヲ持ツテ居リナガラ、實際ニ三等運轉手ノ職ヲ執ラシテモ差支ナイト云フ信用ヲ持チマシテ、ツレデ船長ガ一時ツレニ代理ヲサセテ當番ヲ命ジタト致シマス、サウシテ船長ガ休息ヲシテ居ル中ニ、何カ失措ガアリマシテ、其失措ノ原因ヲ調べテ見マス、其當番シテ居ツタ者ノ不行届ノ事カラ起ツタトスレバ、船長ノ方ハ詰リ任シタノガ正當デアレバ無罪ニナツテ、三等運轉手ナルモノガ當番ヲシテ居ツタ中ニヤツタ失措ハ、即チ三等運轉手ノ責任ニナリマシテ、ツレノ罰スル譯デアリマス、今日モツウナツテ居リマス、詰リ二等運轉手ノ職ヲ執ラレル資格ノモノデアリナガラ、モツト下ゲテ三等運轉手ノ職ヲ執ツテスラ失措ヲスルト云フ位イユヘ、免狀ヲ利用シテ二等又ハ一等運轉士トナル場合ヲ警ムルタメ、懲戒セズバナラヌノデアリマス、又タ命令ノ惡イタメニ船ニ損害ヲ起シタト云フ場合ニナリマスレバ、船長ニ責任ガ往ツテ仕舞ツテ、其當番シテ居ツタモノ、方ハ、相當ノ注意サヘ飲ケテ居ランケレバ無罪ニナリマス、尙續イテ申述べマスガ、其三等運轉手ガ始終免狀ヲ持タナクテモ宜イ位ノ職務ニ就イテ居ルモノデアアルナラバ、決シテ失程ノ制裁ヲ加ヘルニハ及バナイノデアリマスガ、或船ニナルト、其免狀デ船長ニモナレル、一等運轉手ニモナレルモノデアリマスカラ、三等運轉手位ノ職務ニ從事シテ居ツテ、不埒ガアルト云フ位ノモノヲ懲戒セズニ置クト云フトドウ云フ不都合ヲ起サヌトモ云ヘナイデスカラ、免狀ヲ持ツテ居ル者デアツタナラバ、ツレ丈ノ職責ハ正シテ置ク方ガ安然デアルト云フ所カラ、今日マデモ定員外ニナツテ居ツタ者デモ、不都合ガアツタ時ニハ正スコトニシテ居ルノデス

○(阪田昌熾君) 船舶職員ト云フコトニ就イテハ少シモ責任ハナイノデスカ、又ツレガタメニ此法律上ニ於テ多少關係ガアリマスデスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 無論アルノデアリマス
○(阪田昌熾君) 其場合ヲ一ツ承リタイ

○政府委員(佐藤秀顯君) 船舶職員トシテ懲戒ヲ加ヘナケレバナラヌノハ、第一ノ一カラ七迄ノ場合デス

○(阪田昌熾君) 假免狀ヲ所有シタトシテ……

○政府委員(佐藤秀顯君) 第一船舶職員トシテ負ハサナケレバナラヌガ、免狀ニ對シテ不問ニ附スル譯ニ往カナイ、職員以外ノ者デモ免狀ヲ持ツテ居ツテ、船舶ニ從事シテ居レバ問フノガ必要デアリマス、第一ニ問ハネバナラヌノハ船舶職員デアル

○委員長(西山志澄君) ドウデセウ逐條ノ審議ニ涉リマシテカラ、其場合デ已ムヲ得ヌコトハ御質問ヲ願ヒマセウカ——ソレシヤ是ヨリ船舶検査法ノ審議ニ掛ルコトニ致シマス——一寸御相談致シマスルガ、ドウデセウ逐條ヲ審議スルト云フコトニ致シマセウカ、又ハ船舶検査法ノ總體ニ就イテ御審議ヲ乞ヒマセウカ、何レガ御便宜デアリマセウカ

○(阿部典人君) 先刻委員長ノ御示シニ依ルト、船舶職員懲戒法案ニ至ツテハ、質疑モ是迄開ケナイト云フコトデアリマスカラ、果シテソレデゴザイマスレバ、成ルベクハ質疑ヲ終ルコトヲ願ヒマス、ソレカラ之ヲ終リマスレバ、此三ツノ案ハ終リマセウカラ、更ニ審議ニ移ルヤウニ願ハレマスマイカ、併ナガラ此案ニ果シテ諸君ガ御質疑ガアルカ無イカハ、私ノ知ル所デゴザイマセウガ、サウ願イタイト申スノハ、昨日モ色々間違モアリマシタシ、私ハ前ニモ出ズ、且ツ病氣デ私ハ缺席シテ居リマシタカラ、今日ハ若シ御質疑ガアレバ、其質疑丈デ今日ハ終ラウカト思ヒマス、サスレバ昨日ノ速記モ出來テ來マセウカラ其上ニテ審議ヲ致シタイ

○委員長(西山志澄君) 此船舶職員懲戒法案ノ質疑ハ、是迄モアリマシタガ、尙盡キヌモノト思ヒマスカラ、是ヨリハ其質疑ヲ乞ヒマス

○(天竺伊左衛門君) 昨日ノ御質疑ト合セテ伺ヒマス、第四條ノ五年トアルノヲ貴族院ニ於テ三年ト修正致シマシタノハ、ドウ云フ譯デスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 御答致シマス、五年ヲ三年ト致シマシタノハ、餘リ停止ノ期間ニシテハ長イ、技術ニ關スルコトデモアルカラ、五年ヲ以テ最長期ト致シマスルト、停止後更ニ職ヲ執ラウト云フ時ニ、殆ド前ノ技術ハ忘レテ仕舞ウト云ノヤウナ嫌モアルカラ、是ハ三年トスルガ宜シイ、ソレヨリ長クシナケレバナラヌト云フナラバ、禁止モ同ジコトデアルト云フ議論デ、斯ウナツタノデス

○(天竺伊左衛門君) 尙御尋シマスガ、七條若クハ十五條其他ニモ、貴族院ノ修正ガゴザイマスガ、簡單ニ一應御説明下サルヤウニシタイ

○政府委員(佐藤秀顯君) 七條ノ修正ハ十五條其他ト分ケテ申述べマスガ、あちらこちらニ刑事訴訟法ノ規定ヲ準用スト云フコトヲ原案ニハ書イテアルノデアリマスガ、ソレハ複雑デモアリ、寧ロ第七條ハ總則中ノコトデモアルカラ、海員審判所ノ審判ニ關シテ、此法律ニ規定ノナイコトハ、總テ刑事訴訟法ノ規定ヲ準用スルト云フコトヲ一箇條ニ約メテ書イテ、何處ヘモ應用ス

ルコトガ出來ル様ニスル方ガ適當デアラウト云フコトデ、爰ニ掲ゲラレタノデアルデス、ソレカラ十五條ハ「趣意書ヲ差出スヘシ」ト云フコトニ原案ハナツテ居ツタノヲ、十四條ニ持ツテ來テ「被審人ノ申請ニ依リ」ト云フ所ヲ「被審人ノ申請書ニ依リ」ト修正シテ置ケバ、殊ニ第十五條ヲ置クニ及バヌト云フコトデ削ツタノデアリマス、ソレカラ十六條ハ「削除ハ七條ニ就イテ申述ベタト同ジデアリマス、ソレカラ十五條ハ現行デハ海難ノ場合ニモ届出ルコトニナツテ居リマスカラ、原案デハ「海難及」ト云フコトヲ入レテ置イタノデアリマスガ、本案デハ此法律ニ依リ審判ニ附スベキ事實ノアリタルコトヲ認知シサヘスレバ宜シイノデアルカラ、船ガ沈没シテ仕舞ツテ人ガ一人モ生キテ居ル者ガナイト云フヤウナ時ニハ、其船籍ト云フモノモ分ラナイ、理事官ニ報告シヤウト思ツテモ報告シヤウガナイト云フヤウナコトニナル、ソレ故ニ此「海難及」ト云フ字ハ蛇足デアルト云フノデ削ラレタノデアル、其他ハ御尋ヲ俟チマシテ、御答スルコトニ致シマス

○委員長(西山志澄君) 佐藤君ニ御相談シマスガ、色々御質疑モアマリト思ヒマスガ、便宜ノタメニ、其他モ貴族院ノ修正ニ就イテ御承知ニナツテ居ル丈ハ、御話ヲ下サイマスレバ宜カラウト存ジマス

○政府委員(佐藤秀顯君) 承知致シマシタ、修正ノ第十九條ニ「開始決定ハ理事官及被審人ニ之ヲ通知スベシ」ト云フコトヲ入レラレマシタノハ、審判ノ開始ヲスルニ及バヌト決シタ場合ニハ、無論何レヘモ通知ヲスルニ及バヌノデアリマスガ、開クト云フコトニ決シタ場合ニハ、理事官ト被審人ニ通知スルコトハ必要デアアル、其事ハ原案ニハ書イテナイカラ、之ヲ補フテ置クガ宜シイト云フコトデアツタ、ソレカラ修正ノ二十一條ノ末項ヲ削リマシタノハ、第七條ニ就イテ申述べマシタノト同ジコトデアアル、修正ノ二十四條ノ修正モ、巡查又ハ憲兵、上等兵ト云フヤウナ言葉ハ、成程今日ハ必要カモ知レナイガ、元ト々々刑事訴訟法ノ規定ニ準用スルト云フコトニ原則ガナツテ居ル以上ハ、理事官ノ命令ニ依リ拘引狀執行ノ手續ヲ準用シテ之ヲ執行ス」ト云フコトニ書キサヘスレバ、巡查ナリ憲兵、上等兵ナリガ執行スルト云フコトヲ言ハナイデモ分ルカラト云フコトデ、斯ウ修正ニナツタノデアリマス、ソレカラ二十六條「下調十分ナリト思料スル時ハ審判ヲ繼續スルヤ否ヤヲ決定スヘシ」ト云フコトニナリマシタノハ「審判期日ヲ定メ被審人ヲ呼出スヘシ」ト云フコトニ原案デハナツテ居リマシテ、繼續シナイト云フ決定ヲスル手續ト云フモノハ、さるデ分ラヌノデアリマスカラ、ソレヲ分ラセルヤウニ斯ウ云フ工合ニ修正シタガ宜カラウ、サウシテ審判ヲ繼續スベシト決定スルトキハ、審判期日ヲ定メテ被審人ヲ呼出スベシ、審判ヲ繼續セストシタルトキハ、被審人ヲ放免スベシト云フコトヲ加ヘタノデアリマス、ソレカラ二十五條「管轄違又ハ審判ヲ行フベカラザル申立ヲ爲スコトヲ得」ト入レマシタノハ、凡ソ時効ト云フモノヲ極メタ以上ハ、單ニ管轄違ノ申立バカリデハナク、矢張審判ヲ行フベカラザルノ申立ト云フコトヲモ定メテ置カヌト不完全ト云フコ

トデアツタノデ、其二項ニ「審判ヲ行フヘカラサルノ言渡」ト云フコトヲ置カレタノモ同一ノ理由デアル、ソレカラ第三十九條ニ「覆審ヲ求ムル」ト云フコトヲ「控告」ト云フコト、直サレタノハ「覆審ヲ求ムル」ト云フノハ餘リ新規ナ言葉デモアリ又「覆審請求」ト云フコトハ即チ「控告」ト云フコトデアアルノデアアルカラ、斯ウ云フ言葉ニ直スガ穩當デアアルト云フコトデアアルマ、從フテ其次ノ條ニモ又其次ノ條ニモ皆「覆審請求」ト云フ語ヲ「控告」ト直サレテ「請求書」ヲ「申立書」ト修正ニナツタノデアリマス、四十六條ヲ削ラレマシタノハ高等海員審判所ノ裁決ニ對シテ覆審マデ許シテ末ノ話デアアルカラ、脇ノ裁判所ニ持ツテ行クト云フコトガナイ以上ハ、受理ノ仕處ガナイ、掲ゲルノハ殆ド蛇足デアアルカラ、削ツテ置テモ其事ガ明瞭デアアルトノコトデアツタノデアリマス、ソレカラ第四十九條ノ削ラレマシタノハ、船舶職員法ニ就キマシテ昨日申述マシタ通りニ、此末項ハ船舶職員法ニ讓ルノ穩當ナルニ如カスト云フコトデ削ラレマシタノデアリマス、大要ソノナモノデアリマス

○(櫻井義起君) 私ハ三項ニ就イテハ異議アリマセヌ

○委員長(西山志澄君) モウ御質問ハアリマセヌカ

○(阪田昌熾君) 検査法ニ就イテ一寸承ツテ置キタイデスガ、例ヘバナシデスカ力カラ臺灣カラ香港ナドへ通フコトハ、自カラ出來ルモノト想像シテ居リマスガ、サウ云フ船ハ日本ニ戻ラズニ香港ノ船渠ヘ行クニ違ヒナイデセウ、サウ云フ場合ニ至ツテ、検査官ハ香港マデ出張シテ行クノデスカ、ソレハドウ云フコトニナリマスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 御答ヲ致シマスガ、今日デモ帝國ニ船籍ヲ持ツテ居リマスル船ノ出稼ノ多イ場處ニハ、領事ニ委任ニナリマシテ、領事官デ其時ニ司檢官ニ代ルベキ者ニ囑託シテ、ソレニ検査ヲサセルト云フコトニナツテ居リマスガ、此末益々サウ云フコトガ必要ニモナリマセウシ、尙其領事官ノ分任デ辨シ難イト云フ場合ニハ、こちらカラシテ検査官ヲ派出スルコトニモシヤウト存ジマス

○(阪田昌熾君) サウスルト上長官トカ云フヤウナ者カ、又ソレニ相當スルノデアリマスカ、領事トカ何トカ云フヤウナ者ヲ入レテ置イタラドウカト云フ考ヲ持ツデスガ、サウ云フコトハ不必要ト云フ御見込デアリマスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 矢張遞信大臣ノ命ジマス検査官吏デアルト見テ居ルノデアリマスカラ、特ニ此處ニ規定スルニハ及ブマイト思ヒマス

○委員長(西山志澄君) モウ大抵御質疑モ盡キマシタガ、是カラ凡ソ審議ヲ致シマスルニ、ドウ致シマセウカト云フコトニ就イテ御相談ヲ致シマスガ、逐條審議ガ御便利デゴザイマセウカ、又ハ惣体ノ中デ御質疑スルヤウニシマシタガ、御便宜デゴザイマセウカ

○(阪田昌熾君) 餘リ仰出モナイデスカラ、惣体デヤリマシタラドウデス
○委員長(西山志澄君) ソレナラ船舶職員法案ハ一括シテ御審議ヲ願ヒマス、成ルベク順序ヲ追フテ御審議ニナルヤウニ、御注意ヲ請フテ置キマス

○(宮崎榮治君) 此船舶検査法案ニ就イテハ、文字文章ニ就イテハ多少ノ意見モアリマスガ、大体ニ就イテハ別ニ不同意ヲ唱ヘル廉モアリマセヌカラ、全部賛成ヲ表シマス

○(阪田昌熾君) 私ハ第二條ノ遠洋航船、近海航船ノ差別ヲ付ケタノガ、ドウモ政府委員ノ御答デハ分ラヌ、若シ政府委員ノ言ハル、ヤウナ意味ナラバ一ツニシタラ宜イト思フ、現ニ遠洋航海スル船ニ土佐丸一艘アルキリデアリマス、今後ハ出來ハシマセウガ今ハ……アノ秀吉丸、三池丸ノ如キ香港迄石炭ヲ積ンデ行クノ遠洋航船ト見做スカモ知レマセヌガ、是ハ其實矢張近海航船デ、遠洋航船ト名ヲ付ケル必要ハ見出サヌ故ニ、是ハ一緒ニシテドツチカニシタラ宜カラウト云フ考ヲ起シマス、ドウモ此差別ガ分ラナイ、船ニ就イテ云フノデナク、今日殆ドナイ、マ！是カラ以後ハ出來ルカ知ラヌガ、今日ハ土佐丸ヨリ外ニナイ、後トデ借入レルト云フノガ三艘アルト云フコトデアアルガ、近海航船スルノデ香港迄行ツテモ濠洲迄行ツテモ行ケヌコトハナイ

○政府委員(佐藤秀顯君) 阪田君ノ御説ハ御説トシテ、別ニ政府委員ガ駁スル譯デアアリマセヌガ、政府委員ノ云フコトガ分ラヌト云フコトデアリマスカラ、ソレニ就イテ一言御聽キヲ願ツテ置カナケレバナラヌ、今日ハ土佐丸一艘デアルト云フコトデアリマスガ、今日我外國航船ノ平均噸數ヲ調べテ見マスレバ、總噸數デ二千五百五十噸バカリニナツテ居リマシテ、ドウシテモ今日内國航船トシテ居ルモノト、外國航船トシテ居ルモノトノ間ニハ、著シイ區別ガアルノデ、此後モ勿論夫丈ノコトニシナケレバナラヌ、附屬品ノ整備ニナツテモ、職員ノ配置ニナツテモ資格ハマルデ違ウノデアリマスカラ、是ハドウシテ原案ノ如ク据置クコトガ必要デアリマス

○(天竺伊左衛門君) 少シ時期ガ遅レテ居リマスガ、大體此現行法ヲ改正セラル、ト云フコトニ就イテ御説明ガゴザイマスガ、現行法ヲ今日改正致サナケレバナラヌト云フ必要ノ點ヲ尙明瞭ニ御辯明ヲ願タウゴザイマス、大體ニ關係スルコトデゴザイマシテ、幾分カ時期ガ後レテ居リマスガ

○政府委員(佐藤秀顯君) 大体ノ説明ハ前回ニ申述べマシタガ、天竺君ハ御出デニナラナカッタカモ知レマセヌカラ、尙述べマセウ、理由書ニモ書イテゴザイマス通り、検査ノ目的ハ航海ノ危險ヲ豫防致シマシテ、生命財産ノ安全ヲ計ルニ外ナラヌデアリマスガ、今日ノ法ハ表題デモ分テ居リマス通り、西洋形船舶検査規則デアツテ、日本形船舶ニハ及バナインデアリマスカラ、日本形船或ハ間子船デ、其危險ヲ監督ノ周密ヲ計ラナケレバナラヌノハ、却ツテ西洋形ヨリハ切ナモノデアリナガラ、總テ法外ニ委ネラレテ居ルノデアリマスカラ、今度ハ百五十石以上ノ日本形船舶ニ適用シヤウト云フノガ、第一ノ眼目デアリマスノト、今迄検査ノ施行ト云フモノハ、汽船モ帆船モ總テ六箇月若クハ十二箇月ト云フコトニナツテ居ルガ、實際帆船ノ構造並ニ又航海ハ汽船ニ比ベマスレバ、極ク緩慢ナルモノユヘ、汽船ト均シク繁雜ナル検査ヲシナケレバナラヌト云フ譯ハナイノデアリマス、依ツテ汽船ハ汽船、帆

船ハ帆船ニ適スル丈ノ程度ニスルガ、又一ノ眼目デアリマス、ソレカラ雇入ノ外國船ハ、帝國ノ船籍ニ屬シテ居ラナイガ、帝國ノ人命財産ヲ運搬スルタメニ雇入レルモノデアリマスカラ、是ニモ勿論検査ヲ及サナケレバナラヌト存シマシテ、其検査ヲスルコトヲモノ一ノ眼目ニシマシタ、ソレカラ假證書ハ船主ナリ貨主ナリ、便宜上本證書ノ送達ヲ受ケル暇ガナイト云フ場合ニ、極ク必要ナモノデアリマスガ、今日迄ハ一時ノ便宜ノ處分デ、省令ヲ以テ此制ヲ設ケデアリマスガ、之ヲ法律ヲ規定致シマシタノガ、今一ツノ眼目デアリマス、ソレカラ今迄ハ一度検査ヲシタナレバ、ソレガ終局ノ處分デアツタノデアリマスガ、検査ノ公平ヲ保チマステメニ、再検査ノ途ヲ開キマシタト云フノガ、大要改正ノ目的デアリマス

○(天竺伊左衛門君) 大抵唯今ノ御説明ニナツタコトハ、理由書ニモアリマシガ、目下之ヲ改正シナケレバ差支ヘル、今日迄ノ不便ナコトハ御述ニナリマシタガ、熾眉ノ急デアルト云フヤウナ點ニ就イテ差支ヘル個條ト云フモノモ、概略今御述ベニナツタヤウナ事柄ガ、改正シナケレバナラヌ要點デアリマス

○政府委員(佐藤秀顯君) 御答致シマス、其通りデアリマシテ、今申述マシタノハ言葉ガ足ラナカツタデアリマセウガ、日本形船ニ及ボサナイ、検査ノタメニ日本ノ航海上生命財産ノ安全ヲ保護スルコト云フ目的ガ立タナイノデアリマス、ソレデ多年此必要ハ感シテ居ツタノデアリマスガ、時機モ許サズ、今日ニ遷延シタ譯デ、其一箇條デモ實ニ熾眉ノ急ニ迫ツテ居ルノデアリマス、其他皆ナ急ニ此現行法ヲ改正セナケレバナラヌト云フ理由ハ前申述マシタ通りデアリマス

○(天竺伊左衛門君) 是ハ見方デ熾眉ノ急ト云ヘバ急デアアル、時機ガ許サヌト云ヘバ許サヌデアリマスガ、如何ニモ今日マデ此改正案ガ今ノ政府委員ノ御答辯ノ通りデアレバ、御提出ガナカタト云フコトニ就イテハ私ハ不審ニ思フデス、今ノ御説ノ如キ有様デアレバ、今日マデ御提出ニナル時機ガ幾ラモアルダラウト思フデス、今ノ時機ガ許ナカツタト云フ其點ニ就イテハ、伺フコトガ出来マスルナレバ伺ヒタイデス

○政府委員(佐藤秀顯君) 第二議會ニ當リマシテ、汽船ト帆船ト検査ノ方法ヲ一ツニシテ置クノハ甚ダ不便利デアアル、謂ハレナイモノデアルト云フ理由ヲ第一ト致シマシテ、帆船検査廢止法案ト云フモノヲ貴族院ヘ提出ニナツタコトガアリマスガ、其主意ハ帆船ハ日本形ナリ、西洋形ナリ凡テ別段ノ規定ヲ以テ行政命令デ取締リ仕ヤウ、法律即チ現行ノ検査規則ハ汽船ニ止メヤウト云フ當時ノ見込デアリマシテ、提出ニナツタノデアリマスガ、當時貴族院ハソレヲ否決シマシテ、是非検査ノ精密ヲ將來二期セナケレバナラヌノニ、今漁船計リノ取締リ法律ニ委ネテ、其他ハ命令ニ委スルト云フコトハ謂レノナイコトデアアル、生命ノ保護ノ必要ナコトハ勿論デアアルガ、又重モニ財産即チ貨物ヲ運搬スル帆船ト雖モ、決シテ命令等ニ委スルヤウナコトデハナラヌト云

フコトデ、否決ニナツタノデアリマス、ソレカラ兩方ニ當籍マルヤウニスルト云フコトデ、段々調査ヲ重ネテ今日ニ至リマシタノデス、緩慢ノ責ハ別段當政府委員ハ負ハナイ所デアリマスガ、今迄ノ沿革ヲ御話シ致シマスルト、サウ云フ譯デアツタノデアリマス

○(天竺伊左衛門君) 尙伺ヒマス、今ノ急ニ迫ツテ居ルト云フ上カラ少シ疑ヲ抱キマス、此十二條ニ二十年七月一日ヨリ施行スト云フコトガアリマスガ、ソレ程急ニ迫ツテ居ルコトナレバ、未ダ此年限ヲ早ク實施スルコトモ出来ルヤウニ思ヒマス、之ヲ三十年七月ト御掲ゲニナツタ理由ヲ伺ヒタイ

○政府委員(佐藤秀顯君) 是ハ海事即チ船舶ニ關スル法律ノ大改正デアツテ、豫ジメ準備ノ時日ヲ當業者ニモ與ヘマセヌト、教ヘザル民ヲ罰スルト云フヤウナ嫌ガアリマスカラ、發布ハ最モ急キマスガ、實行迄ニハ此位ノ時日ヲ借スコトガ又甚ダ必要デアルト云フ所カラ、餘儀ナク斯ウ云フ譯ニナツタノデアリマス

○(阿部興人君) 私ハ少シ取調スル暇ガアリマセヌデ、念ノタメ御尋申シマスガ、曾テ日本形船舶ノ五百石以上ノモノハ、線路ヲ止メタト云フコトガアツタヤウニ思ヒマスガ、アレハ何時デアリマシタ

○政府委員(佐藤秀顯君) 彼レハ二十年カラ禁止サレテ居ツタト思ヒマス、發布ハ十八年デアツタト心得マスガ、五百石以上ノハ禁止サレテ居リマス

○(阿部興人君) 其文章ヲ御携ヘナレバ一寸拜見ヲ致シタイ

○(宮崎榮治君) 決議前ニ政府委員ニ確カメテ置キタイノデス、此第十二條ノ規程ト細則トハ遞信大臣之ヲ定ムトアリマスガ、是ニハ本員モ多少ノ意見ハナキニシモアラズデアリマスガ、貴族院ニ於テ精密ナル調査ヲ遂ゲラレテ折角修正ニナツタノデスカラ、貴族院ノ審議ヲ重ンズル所カラシテ、敢テ是ニ對シテ意見ヲ持出サヌコトト云フ積リデアリマス、故ニ意見デアリマセヌガ此十二條ノ遞信大臣之ヲ定ムルト云フノハ、必ズ命令デアラウト信シテ居ルノデスガ、若シ命令デ無イト云フコトナレバ、ソレニハ少シ意見モ出サナケレバナラヌト思ヒマス

○政府委員(佐藤秀顯君) 如何ニシテ之ヲ定ムルカ、命令ヲ以テスルノデアルカト云フ御尋デスカ

○(宮崎榮治君) 左様デス是非衆人ニモ廣ク示スト云フコトデナケレバナラヌト思ヒマス、ソレデ遞信大臣之ヲ定ムト云フノハ、廣ク一般ニ命令ヲ發シテ往カレルモノデアラウト思フデス

○政府委員(佐藤秀顯君) 其通りデアリマス、省令ヲ以テ發スル答デアリマス

○(阿部興人君) 此十八年七月八日ニ五百石以上ノ船舶製造ヲ禁止シテ居ル、此法律ハ今現存シテ居ルト思ヒマスガ、是ニ就イテ尙ホ念ノタメニ御尋シマスガ、此後ニ何カ沿革ハゴザイマセヌデシタガ

○政府委員(佐藤秀顯君) 沿革ハナイノデアリマスガ、其法律ガ發布ニナリ

マシタタメニ、五百石以上ノ船舶ハ出來ナイ譯デアリマス所ガ、前來申述マ
ス通誠ニ自由自在放埒極マル日本形船舶デアリマスカラシテ、西洋形船舶ヲ持
ツヨリハ便利且僥倖ト云フ考ヲ持ツモノガ大變ニ多イ、ソレデ五百石以上ヲ
新造スルコトハ出來ヌト云フコトニナツテ居リマスカラシテ、ソレハ新造ハ
シナイノデスカ、古船ノドウシテモ用ニ立タヌト云フヤウナモノヲ毀スコト
ヲセズシテ、鑑札ヲ賣買致シマシテ、三枚乃至五枚位ノ板ヲ使ツテ矢張ソレ
ヲ新造シタト云フテモ宜イ位ノ修理ヲ加ヘマシテ、サウシテ依然ト使ツテ居
ル、又以前ノ形トハ丸デ變ヘテ仕舞ツテ、所謂ルビの子ト云フヤウナモノ
ト致シマシテ使用シテ居ルモノモアルト云フヤウナ勢デ、西洋形船舶ノ發達進
歩ニ非常ナ妨ゲヲナシツ、アルノデアリマス、檢査ノ日本形船舶ニ及バヌタメ
ニ、沿革ト申シマスレバ先ヅ右様ノコトデアリマス

○(阿部興人君) 此法ニ依リマスレバ、五百石以上ノ日本形船舶即チ此制裁ヲ
シテアツタ所ノモノハ、今後ハドウナサル思召デアリマスカ、矢張五百石以上
ノ日本形船舶ニ對シテハ、此法律ヲ活シテ置テ、嚴禁スルコト云フ御考デスカ
○(政府委員(佐藤秀顯君)) 其答デゴザイマス
○(阿部興人君) 然ラバソレハ檢査法ヲ密ニシテ、所謂此法律ノ勵行ニ止
メルト云フ御考デスカ

○(政府委員(佐藤秀顯君)) 左様デゴザイマス
○(天竺伊左衛門君) 私ハ阪田君ノ御修正ニ就イテ伺ヒマスガ、此處ニ四種
ニナツテ居リマス航路ヲ二種ニお縮メニナルノハ、ドウ云フ都合ニシテお縮
メニナルノデスカ

○(阪田昌熾君) 遠洋航船ト近海航船ト云フノヲ一緒ニシタノデス、此表デ
見マスルト能ク分リマスガ、此方ハ遠洋航船ト近海航船ト二ツニナツテ居リ
マスケレドモ、三百噸以上ト云フノヲ、五百噸以上ト直シテモ、詰リ同ジコ
トニナルノデ、遠洋航船デ現ニ三百噸以下ノ船ハ無イノデス、ソレデ五百噸
ト直スト、近海航船モ遠洋航船モ、機關士トカ船長トカ云フヤウナ者ガ同ジ
ニナリマスカラ、一ツモノニシテ置タナラ宜カラウト云フノデス

○(天竺伊左衛門君) サウスルト、帆船ノ方デ見マスルト五百噸以下デアリ
マスガ、是ハドウナリマスガ

○(阪田昌熾君) 帆船ノ方デモ、詰リ三ノ字ヲ五ノ字ニ直スコト、云フコト
ニナルノデ、遠洋航船デ三百噸ト云フヤウナ細イ船ハ出來マセヌカラ——遠
海航船ハ却ツテ大イ船ニナリマスカラ、一緒デ少シモ差支ナイト思ヒマス、
遠洋航船ト云フ方デ、日吉丸カ唯一艘デ、ソレガタメニ三百噸以上トシテ置
カヌデモ宜イ、一艘ノタメニ三百噸ト云フ名稱ヲ下シテ置ク必要ハナクナル、
其日吉丸ト云フ船モドウカト云フト、決シテ遠洋航船デハナイ、近海航船デ
ス、ソレ故ニ此遠洋航船ニ拵ヘテ置イタ所ガ、ちつとも其名ヲ付ケル必要ハ
ナイ

○(天竺伊左衛門君) 第二條ニ於テハ阪田君ノ修正說ニ贊成致シマス、貴族

院ニ於テ挿入致シマシタ第四條是ニ私ハ修正ヲ加ヘマス、汽船ニ在ツテハ三
箇月以上一箇年以内トアリマスルノヲ、二箇年以内ト修正致シマス、帆船ニ
在テハ六箇月以上三箇年以内トアリマスルノヲ、一年以上五箇年以内ト修正
致シマス

○(阪田昌熾君) 贊成致シマス

○(天竺伊左衛門君) 追々此海上ノコトニ就イテハ營業者モ注意ヲ致シマス
ルシ、又其職員ニ於テモ段々技術モ熟練ニ及ンデ參リマスカラ、汽船ノ如キ
機關ヲ具ヘテ居リマスル船ニ在テハ、之ヲ監督スル上ニ於テ最モ注意ヲ致サ
ヌケレバナリマヒエヌガ、併シ營業者ノ海事思想ノ發達ヲスルト同時ニ、職員ノ
熟練トニ依ツテ少シク痛ミヲ生ズトカ何トカ云フコトガ出來テ參リマス云
フト、其職員ニ於テ直ニ多少ノ修繕ハ加ヘツ、アル、又器械ノ上ニ於テモ追
追精巧ナ器械ヲ望ムヤウニ機運ガ向ヒテ來タノデアリデ、此併ナガラ今ノ所
デハ隨分古イ船モアルカラ、三箇月ト云フ一番ノ最短期ヲ存シテ置キマシテ、
二箇年ト以内之ヲ長ク航行期間ヲ延シテ置クノハ、營業上最モ必要ト思ヒマ
スルシ、又二箇年ト致シマシテモ、其危險ノ虞ハナシ、ソレデ二箇年以内ト
汽船ノ方ハ修正ヲ加ヘマス、帆船ニ於テハ汽船ナド、違ツテ、隨分航
海ノ度數モ少ナク、六箇月ノ短期デハ、營業者ニ在ツテ餘程不便ヲ感ズルダ
ウト思ヒマス、大体汽船ト帆船トハ船ノ種類モ違ヒマスルシ、是又二箇月ヤ
三箇月デ修繕ニ上ツテ來ルヤウナコトハ、今日ニ在テモ營業者ニ於テ致サヌ
ノデ、修繕ヲ加ヘルトキハ必ズ一箇年ナリ二箇年ナリ、其船体ノ堪ヘルヤ
ウニ修繕ヲ致シマスルカラ、是ハ最下點ヲ六箇月トアルノヲ一箇年ニ延バシ、
又新シキ船體ニナツテ參リマスレバ、五箇年以内ニ檢査ヲスルト云フコトノ
必要ヲ感ジナイデ、此三年トアルノヲ五箇年ト修正ニ致シタイ

○(阪田昌熾君) 成ル丈廣クシテ置イタ方が便利デ、船渠ハ入レルト云フコ
トハ、船ヲ持ツタ人カラ見ルト、永ク置ケバ自然ニ速力ガ遅クナルカラ、相違
ノトキニハ船渠ニ入レルトモ、船ノ使ヒヤウノ少イ場合ニハ必ズ一箇年ニ一
度船渠ニ入レナクテモ宜シイ場合ガアル、ソレデ天竺君ノ說ニ贊成シマス

○(政府委員(佐藤秀顯君)) 第一ニ阪田君ノ御說ハ、實際ニ今日ハ船ガ少イカ
ラ、遠洋航船ト近海航船等ヲ分ケルニ及バヌノデアリ、此法モ蓋シソレデア
ラウト云フヤウナ御說ノヤウデアリマスガ、遠洋航船ト近海航船トハ、旅客ノ
定員カラ屬具ノ整備マデ、皆ナ違ツテ居ルノデアリマシテ、之ヲ一ツノモノ
ニシテ仕舞ハ、營業者ハ迷惑スルノミナラズ、取締上ニ於テモ大變ナ不都合
ガ起ルノデアリマスカラ、船ノ多少ハ暫ク措イテ論ジマセズトモ、法律ハド
レニモ不都合ノナイヤウニシテ置クノガ第一デアリマスカラ、是非原案ノ通
リ御据置アラシコトヲ希望致シマス、ソレカラ天竺君ノ御說ニ就キマシテハ、
二箇年以内トサレルト大變船主ハ便利ナヤウデアツテ、決シテ左様デハナ
イ、原案ノ通りデ不便ハナイノデアリマス、今阪田君ノ御說ノ通りニ、凡
ソ汽船ハ一箇年ニ一度ハ底掃除ノタメニ船渠ニ入レルト云フノハ必要デア
ル

ノデスカラ、船渠ニモ這入リマセウガ、此定期検査ト云フノハ、必ズ船渠ニ入レナケレバ出来ヌモノデハナイ、泛ケテ置イテモ出来ル検査デアリマス、ツレデ船主ハ二年置イテ貰ウ方宜イト云フヤウナブーや者モ万ニハナイトモ言ヘナイガ、船主ハ免ニ角保險會社ヤ生命財産ノ安全ニ對シ、ソナ不安心ナコトハ逆モシテ居ラレルモノデハナイ、ドレ程新ラシキ船デモ、ドレ程精巧ナ器械ヲ備ヘテ居ルモノデモ、器械ガ精巧デアレバ危險モ從ツテ多イノデアリマス、検査ノ開闢以來一箇年以内ニ極ツテ居ル三箇月ト云フヤウナモノハ、能ク少イ話デアリマスガ、併シナイデハナイカラ最短期ヲ三箇月トシ、最長期ヲ一箇年トシテ置クコトハ、漁船ニアツテハ必要デアリマス、帆船ニアツテハ原案ノ精神ハ別ニ明文ヲ掲ゲテ置カナカツタノデアリマスカ、一箇年以上五箇年以内ノ積リデアツタガ、貴族院ハ船ノ検査ヲスルコトガ必要ト云フ位ナラバ、三年ニ一度位ハヤラネバ検査ノ效ヲ爲サヌデアラウ、五年ニ一度ト云フ検査ハ殆ンドシナイト同ジモノデアアル、餘リ長過ギル船主ハ長イ程宜イカモ知レヌガ、矢張保險會社ヤ何カニ對シテハ餘リ危險デアアルカラ、六箇月以上三箇年以内ニスルガ宜シイト云フ精神デ、明文ヲ掲グルト同時ニ斯ウ云フコトニ決定ニナツタノデアリマス、成ルベク修正案ノ通リニナランコトヲ希望致シマス

○(天竺伊左衛門君) 今政府委員ノ辯駁ガアリマシタケレドモ、遠洋航船ト近海航船ト之ヲ合シテ一ニ致シマスルト、ソレノ此備付ル船舶ノ備付品ト云フモノガ違ウテ來ルト云フヤウナ御説モアツタガ、營業者ナドノ内カラ色々聽キ込デ見マス、ツレハ成程備付品ハ違フテ居ル、併ナガラ遠洋航船ナドニハ餘リ必要デナイ品マデ、命令ヲ以テ備付ルト云フヤウナコトニナツテ困ル、近海航船ニ用ル所ノモノヲ遠洋航船ノ備付品ニシテ、敢テ差支ハ來サヌト云フコトハ、追々聽イテ居ルデス、私ハ之ヲ合シテ近海航船ニ使用スルモノヲ以テ、遠洋航船ニハ働ガ出來ルト云フ考ヲ以テ賛成シタデス、ツレカラ此第四條ノ點ニ就イテモ御説ガアリマシタケレドモ、二箇年以内トシテ置ク以上ハ敢テ差支ヌデス、是非共一箇年以内ノ内ニ一度セネバナラヌト云フコトハナイ、堅牢ナ器械ヲ用ヒ、堅牢ナ船ヲ以テ航行致シマスルトキニハ、多少修繕ノ箇所ガ出來テ來タ所ガ極ク僅ナモノデ、時々其都度々々ニ汽船ニ在ツテハ敢テ干渉ヲシナクテモ、職員ニ於テ拾置カズシテ修繕ヲ加ヘルコトニナツテ居リマスルカラ、二箇年以内トシテ置ク方ガ却ツテ便利デス、之ヲ縮メタト云フテ、危險ト云フ虞ハ決シテナイト私ハ確信シマス

○(宮島榮治君) 唯今天竺君ノ御修正ノ御意見ハ、成程一應御尤モノヤウニハアリマスケレドモ、是迄サヘモ一箇年以内ト云フコトニナツテ居ル、今日此検査法ヲ改正セラレルノ大體ト云フモノハ、蓋シ生命財産ノ安全ヲ圖ツテ往カネバナラヌト云フノ點カラシテ、觀察ヲ下シマシタナラバ、大變ニツレニ緩ミヲ付ケテ來ルヤウニナリヤセヌカ、先刻阪田君ノ御意見ガゴザリマシテ、毎年一回船渠ニ入レナケレバナラヌト云フコトモアツテ見レバ、

實際ニ於テ一箇年以内ト云フコトハ差支ガナカラウカト考ヘル、殊ニ此検査法案ガ始メテ衆議院へ提出ニナツタモノデアリマスレバ、修正ヲ加ヘナケレバナラヌ廉ガアレバ加ヘネバナラヌカ、幾ラカ我衆議院ニ於テハ貴族院ノ院議ト云フモノモ重シテ往カネバナラヌ、現ニ貴族院ニ於テハ豫算案ノ如キハ、全然同意ヲ表シテ往ツタ點ヲ見ルト、大ニ其邊モ考ヘネバナラヌコトデアラウト思ヒマス、故ニ本員等ニ於キマシテハ、實際ヒツシト差支ノアル點ハ格別デアリマスケレドモ、其條項ニ至ツテハ、成ルベク本條ノ通過ヲ計ツタ方ガ宜カラウカト考ヘル

○(櫻井義起君) 第四條ノ天竺君ノ御説モアリマスケレドモ、質問ノトキ詳細ク尋ネマシタガ、検査官ハ前ハ随分検査スルノニ差支モアツタケレドモ、近來ハ決シテ船ニ迷惑ヲ懸ケナイト云フ答ノアツタ位イ、殆ド責任アル答モアツタ位ノ點デアリマスカラ、當局者ハ必ズ検査上ニ成ル丈敏捷ヲ計ラル、ト思ヒマスカラ、私ハ原案ヲ可ト致シマス

○(天竺伊左衛門君) 宮崎君ノ御注意モアリマシタガ、既ニ検査ヲスル以上ニハ、縱令二箇年ト致シテ置キマシテモ、生命財産ニ不安心ノコトガアレバ二箇年以内トシテアル以上ハ、二箇年ノ極點ヲ許スモノデモゴザイマセヌ其點ニ於テハ私ハ是レニ二箇年トスルノガ當局者ノ便利ヲ計ル上ニ於テ別ニ差支ナイカラ、是レハ二箇年ニシタイト云フ説デス、ツレカラ貴族院ノ修正ニナツタ點ニ就イテ御希望モゴザイマシタガ、私ト雖モ衆議院ハ成ルベク務メ得ラル、丈ケハ修正ヲ加ヘヌヤウニ致シタイト思ヒマス、併シ此審理ノ場合ニ於テハ、意思ノアル所丈ハ表明シテ置カナケレバナラヌ、是モ一回ニシテ確定ニスルト云フノデアリマセヌカラ、尙此後確定議ノ場合ニハ、熟考ノ上ドウスルカ分ラヌガ、逐條ノ審議ノ場合ニ於テハ今ノ御注意モゴザイマスケレドモ、遠慮ヲスルニ及バヌト思ヒマス

○委員長(西山志澄君) 諸君ニ御相談ヲ致シマスガ、阪田君ナリ天竺君ノ御修正モアリマシテ、多少又ツレト違ツタ御説モゴザイマセウ、全体此案ヲ決シマスルコトハ甚ダ急ヲ要シテ居ルト云フコトハ、先キニ御相談ヲ致シタコトデモアリマスルガ、併ナガラ丁度食事ノ時刻ニモナリマシテ、續イテ三十分ヲ置キマシテカラハ本會ノ開會ニモナリマスカラシテ、一先休憩シテ更ニ午後二開クコトニシタラドウデアリマセウ

(贊成々々ト呼フ者アリ)
午後零時二十五分休憩

明治二十九年三月十六日印刷

明治二十九年三月十六日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局